

あかるいまち 21

No.1507 2022年5月 12日
組合員活動推進課 082-532-1264

	5月	2022年度
組合員ふやし	29人	147人
出資金ふやし	300万円	1253万円
純増	114円	△147万円

広島市健康福祉協と医療生協での懇談 今年度も連携して地域の健康づくりに取り組みます！

4月22日（金）に広島市健康福祉局、広島医療生協と広島中央保健生協の総勢 19 名で懇談を行いました。

広島医療生協からは、2020年11月の懇談以降の広島市健康福祉局と連携しての活動経過、および健康づくり活動の紹介がありました。「広島市からの健康づくりに関する情報提供を機関紙に掲載したところ、組合員さんの健康づくりに対する意識向上につながり、健診受診率が上がった」と報告がありました。



中央保健生協からは、竹本課長より、「コロナ禍でも、感染症対策を行いながら『ウォーキング』や『学習会』などを実施し健康づくりの意識付けに取り組んだ」ことが報告されました。その中でも、3月15日に開催された広島市との共催企画「健康づくり講座」には生協組合員以外の方も多数参加され、地域一体での取り組み成果になったと報告がありました。

続いて、広島市「保険年金課」と「健康推進課」から、この間の取り組み報告と令和4年度計画の方針①生活習慣病の発症予防と重症化予防、②ライフステージに応じた健康づくり、③社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備、の説明がありました。

また、ジェネリック医薬品の使用促進運動や、ひろしま食育ネットワークを通じてコンビニやスーパー等の企業と連携し、減塩活動の推進を行っているとの紹介がありました。

最後の意見交換では、健康診断について「若い世代への声かけが難しい」「継続した受診につながらない」との課題が示されました。広島医療生協では、昨年度より「女性健診デー」を設け、今年度は5回実施するとの話があり医師らも全員女性で対応するとの報告がありました。また、中央保健生協では、健診科岡村科長より特定健診とがん検診のセットでの健診を進めていることや医師から直接声かけをし受診につなげていきたいとの報告がありました。

広島市では、今年度より基本的に健診の全項目を受診することを前提とした、受診を希望しない項目を除くオプトアウト方式を実施するとの報告がありました。

他にも今回の懇談で多くの議論を交わし、実りのある交流となりました。

今後も、広島市と連携して地域の健康づくり向上に力を入れていきたいと思います。

